

三中校長だより 保護者地域の皆さんへ

第2号 R3.6.28(月)

藤井寺市立第三中学校

校長 奥 雅 美



「自動販売機」

最近暑い日が続いています。保護者の皆さまにはすでにお知らせしているとおり、本校の校内に中学校に水・お茶・スポーツドリンクの自動販売機を設置しました。

設置した第一の目的は生徒の熱中症予防です。普段、子どもたちには家から一日過ごすのに十分な量のお茶や水を水筒に入れて持参するように指導しています。しかし、思ったより気温が上がり、お茶が足りなくなった等の場面で水道水を飲むことに抵抗のある子が多く、我慢してしんどくなってしまうことがあるのです。もちろん体調を崩した場合は保健室で水分補給や休養をさせますが、体調を崩さないように各自でコントロールしてもらえればと思います。まずは足りなくなって困ることがないように準備することが大事です。また、自動販売機ではスポーツドリンクを購入することも可能です。(家から持参することもできます)しかし、保健だよりでもお知らせしている通り、スポーツドリンクの中に塩分の他に多く含まれる糖分の問題が発生します。スポーツドリンクにはペットボトル1本(500ml)に20~30gの糖分が含まれており、スティックシュガー約10本分に相当します。スポーツドリンクを1本飲むと、成人1日分の砂糖摂取量推奨ガイドライン25gを超えてしまうことになります。このことを踏まえ、スポーツドリンクはしっかり汗をかくような運動をする場合に適量を飲むようにしてほしいと思います。

自動販売機設置の第二の目的は本校が災害で避難所になったときの飲み物提供のためです。自動販売機の機種は本校のユニバーサルデザインの学校づくりの理念のもとに、バリアフリーモデルにいただきました。小さな子どもや車椅子の方でも利用しやすい形になっています。また、この販売機は本校が避難所になった場合、コカ・コーラボトラーズジャパン(株)のご厚意で、たとえ停電していても無料で飲み物を提供できる機能を備えており、もしもの場合に安心して本校に避難していただけるようになっています。

生徒たちが上手に長く使っていくためのルールは、生徒会が中心となり考えてくれました。詳細はHPをご覧ください。

「タブレット」

文科省による令和5年度までに全国の小中学生に一人1台のタブレット端末を使える環境を作ろうという「GIGA スクール構想」が、このコロナ禍で前倒しになり、昨年末には藤井寺市にも端末が配備されました。本校は学校規模や建物の構造の都合でネットワーク環境が遅れていましたが、少しずつ授業等で使用する頻度を上げています。例えば、理科の実験レポートをタブレットで配布し、作成したものをインターネット上で提出することや、体育の実技をタブレットで撮影し、自分の動画を見ながらポイントをつかむなど、各教科とも工夫を凝らして使用しています。今のところ、タブレットを使った提出物は紙よりも提出率が高いそうです。昨年度よりお知らせしている通り、タブレットを夏休みに持ち帰らせることができるように、これから持ち帰り実験が始まります。詳しくは改めてお知らせしますのでしばらくお待ちください。タブレットが学校での使用と同様に家でも使うことができれば、学習の幅や機会は格段に広がるでしょう。子どもの習得は速いです。ご家庭でもご協力をお願いいたします。